

令和 5 年 5 月 主な寄せられた声（全 6 通のうち 4 通）

◇マイナンバーカードの有効利用について

【ご意見・ご提案など】

こどもの医療証だけでなく、ひとり親、障がい者、難病などの医療費助成の受給者証や予防接種、妊婦・乳幼児健診の接種券や受診券も、マイナンバーカードひとつで済ませられるようにしてください。

（令和 5 年 5 月 3 日）

【お返事】

南魚沼市では、「南魚沼市 DX 推進計画」を令和 4 年度に策定し、今年度当初から計画案の実現に向けて南魚沼市 DX 推進プロジェクトを立ち上げます。

ご指摘いただきました各種申請処理やお知らせ事項等の連携については、計画案作成時から課題にされており、「一回の手続きで関連する事務処理が連携できないか」との意見が出ています。新しいプロジェクトではマイナンバーカードによる個人認証処理の共通化を念頭に、システム連携の可否を検討していきます。

（担当：DX 推進室 DX 推進係）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇ 基幹病院の診療体制について

【ご意見・ご提案など】

魚沼基幹病院で治療を続けてきましたが、突然、今年の4月から長岡日赤病院で治療を受けるように告げられました。これは魚沼基幹病院の血液内科の常任医師が不在になるため一部の治療維持が困難となり、入院患者も3月6日から受入中止となりました。私の治療は毎月5～7日間の通院が必要です。魚沼基幹病院が以前のような体制となるようご尽力いただきたくお願いいたします。

(令和5年5月1日)

【お返事】

新潟県の令和2年人口10万人あたり医師偏在指数は172.7人と全国で最下位であり、なかでも南魚沼地域を含む魚沼医療圏は121.4人と、県内でも最も低くなっています。新潟県及び各自治体は医師確保に最優先で取り組んでいますが、なかなか改善がみられないのが現状です。ご意見をいただいた魚沼基幹病院においても同様のことと考えております。

魚沼基幹病院は、新潟県が中心となって設立された新潟県地域医療推進機構により運営されています。いただいたご意見は、今後の改善につながるよう、魚沼基幹病院へ届けたいと考えております。

(担当：保健課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇市報の内容について

【ご意見・ご提案など】

市報1日号に国際大学生の紹介があり、出身国の紹介と南魚沼市の感想が紹介されていますが、ほかに、現在学んでいる内容や卒業後はどんな職業に就くのか又は目指しているのかなど、学業と将来目指す事を紹介いただければ、高校生や中学生にもいづらか参考になるのかと思いますので、上記のような内容を追加いただければと思います。

(令和5年5月14日)

【お返事】

「国際大学留学生お国自慢コーナー」は、留学生の出身地を紹介する記事を掲載しており、5月で121回を迎えました。ご提案いただきました留学生への質問事項の追加につきましては、留学生の留学目的やどのようなことを学んでいるかなど、市内にある大学院大学である国際大学をより深く知っていただく機会になることも考えられますので、今後紙面の構成を検討する際の参考にさせていただきます。

(担当：秘書広報課)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658

◇市民への生活支援について

【ご意見・ご提案など】

湯沢町では町民1人当たり5000円の商品券を支給しましたが、南魚沼市では何かありますか。

(令和5年5月28日)

【お返事】

南魚沼市では、令和3年と令和4年に3回にわたってプレミアム付商品券を発行してまいりましたが、この度の発行はありません。

今回の「生活者」の負担軽減支援としては、生活困窮世帯に対する支援金の支給や、公立・私立保育園に対する給食材料費の助成、高校、大学等に在学する子の保護者に対する支援金の支給を実施します。

(担当：企画政策課企画班)

問合せ：秘書広報課 ☎773-6658